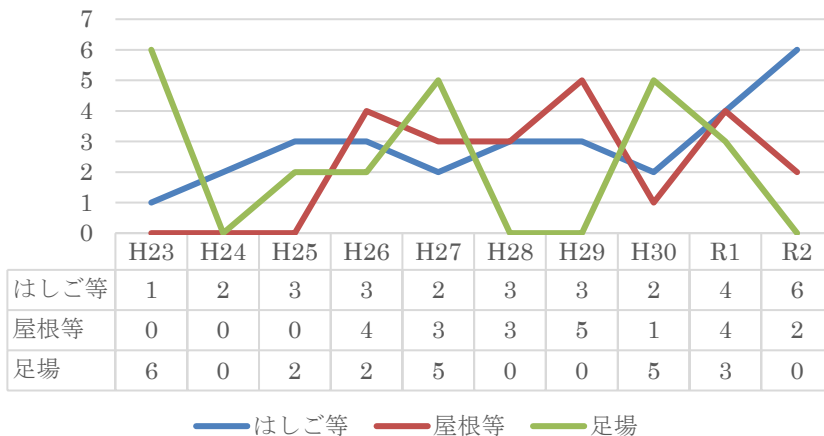


# 1メートルは一命取る

## はしごや脚立を安全に使用しましょう！

例年、建設業では墜落・転落災害が最も多く発生しています。中でも、はしごや脚立からの墜落・転落災害が増加しています。はしご等での作業は、①短時間作業が多く油断する、②身近な用具であるだけに安全確保の意識が薄い、③管理者・作業者とも高所作業であるという認識が薄いため、安全確保が不十分な状況にあります。しかし、昨年1年間でもはしご等からの墜落・転落による死亡災害が全国で17件も発生しています。はしご等を適切に使用し、労働災害の防止に努めましょう。

図Ⅰ 建設業 墜落・転落（起因物別）松阪署管内



過去10年間（松阪署管内）で、はしご等からの墜落・転落が年々増加しており、令和元年以降、墜落・転落の起因物の中で最も多くなっています。



図Ⅱ はしご・脚立からの墜落・転落災害発生状況（平成23年～令和2年）松阪署管内

はしご	はしごの上でバランスを崩す	1件
	はしごが転移する	3件
	はしごの昇降時等に手足が滑る	1件
	その他昇降時（踏み外し等）	3件
脚立	天板に乗りバランスを崩す	2件
	脚立にまたがってバランスを崩す	2件
	荷物を持ちながらバランスを崩す	1件
	その他作業中	12件
	その他昇降時	1件
その他		3件
合 計		29件

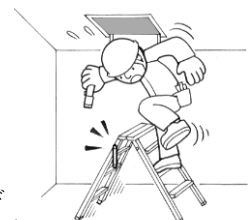
特に、脚立の上で作業中に最も多く墜落・転落災害が発生しています。脚立での作業に当たっては特に次の事項に注意して作業を行ってください。

- ・脚立は原則、2m未満の物を使用
- ・高さ2m以上の脚立での作業は、天板より3段目以下の踏みさんに足を置き手すりとしながら作業する
- ・高さ2m未満の脚立は、上から2段目以下の踏みさんに足を置き、体を支えながら作業する
- ・身を乗り出での作業は禁止
- ・踏みさん上でつま先立ちは禁止

その他、はしご等における作業での災害防止対策については裏面のチェックリストをご活用いただくとともに、リーフレット「労働者、雇用主の皆さまへ はしごや脚立からの墜落・転落災害をなくしましょう」も参考にしてください。



リーフレット QR コード



# はしごを使う前に

はしごを使う時は、次のチェックリストを使って、作業現場の点検をしてください。  
あなたやあなたと一緒に働く仲間を守るため、すべてにチェックがついた状態に  
なってから、作業を始めましょう。

## 作業前 8 のチェック!!

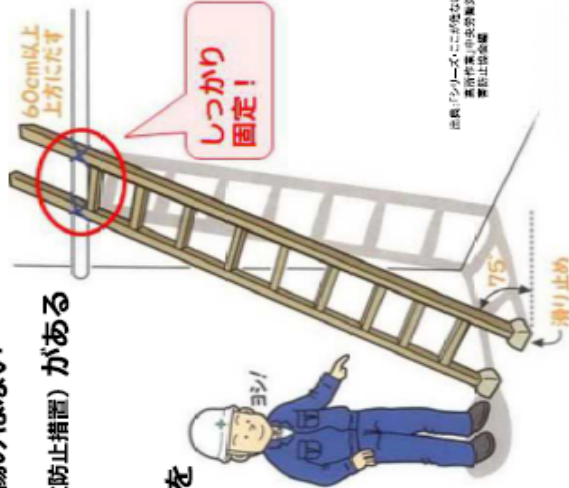
(作業前点検リスト)

年 月 日 天気 (晴・曇・雨・雪)

現場名 \_\_\_\_\_ 確認担当者名 \_\_\_\_\_

- はしごの上部・下部の固定状況を確認している
- (はしごをボルトで取付けている場合) ボルトが緩んだり腐食したりしていない
- はしごの上端を、上端床から60cm以上突出している
- はしごの立て掛け角度は、75度程度となっている
- はしごの踏みさんに、明らかな傷みはない
- はしごの足元に、滑り止め (転位防止措置) がある
- 靴は脱げにくく、滑りにくい
- ヘルメットを着用し、あごひもを締めている

※既設はしごを使うときも、チェックしましょう



### 「労働安全衛生規則」で定められている事項

移動はしご (安衛則第527条)

- 1 丈夫な構造
- 2 材料は著しい損傷、腐食等がない
- 3 幅は30cm以上
- 4 すべり止め措置の取付その他転位を防止するための必要な措置

# 脚立を使う前に

脚立を使う時は、次のチェックリストを使って、作業現場の点検をしてください。  
あなたやあなたと一緒に働く仲間を守るため、すべてにチェックがついた状態に  
なってから、作業を始めましょう!

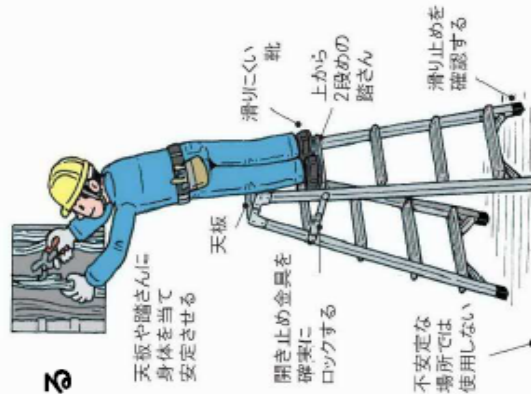
## 作業前 10 のチェック!!

(作業前点検リスト)

年 月 日 天気 (晴・曇・雨・雪)

現場名 \_\_\_\_\_ 確認担当者名 \_\_\_\_\_

- 脚立は安定した場所に設置している
- 開き止めに確実にロックをかけた
- ねじ、ピンの緩み、脱落、踏みさんの明らかな傷みはない
- ヘルメットを着用し、あごひもをしめている
- 靴は脱げにくく、滑りにくいものを履いている
- 身体を天板や踏みさんに当て、身体を安定させる
- 天板上や天板をまたいで作業をしない
- 作業は2段目以下の踏みさんを使用する (3段目以下がよりよい)
- 作業は頭の真上でしない
- 荷物を持って昇降しない



### 「労働安全衛生規則」で定められている事項

脚立 (安衛則第528条)

- 1 丈夫な構造
- 2 材料は著しい損傷、腐食等がない
- 3 脚と水平面との角度を75度以下とし、折りたたみ式のもののは、角度を確実に保つための金具等を整える
- 4 踏み面は作業を安全に行うため必要な面積を有する